

帯財政第224号
平成24年10月19日

部 長

各事務局長

市 長

平成25年度予算編成方針

市長就任以来、地域の産業政策として掲げてきた「フードバレーとかち」は、昨年、十勝定住自立圏の形成やフードバレーとかち推進協議会の設立、さらには国際戦略総合特区の指定などにより推進体制を確立し、今や十勝という一地域にとどまらず、北海道経済を牽引し、国の成長戦略にもつながる大きな施策として、多方面から注目されるに至っている。

私は、このチャンスを逃すことなく、これまで構築してきた枠組みを最大限活かし、4年目となる明年度において、ぜひとも芽吹いてきた芽を開花につなげていきたいと考えている。

また、フードバレーとかちは、産業政策の旗印というだけでなく、様々な可能性が潜在する政策でもあることから、主役となる市民や事業者とともに汗を流し、これを前進させることで、市民が幸せを実感できる、元気な十勝・帯広が実現できるものと確信している。

平成25年度予算については、こうした流れを踏まえ、より市民の納得感・満足感を得られるものとするため、各施策ともその本質に立ち返り、目的達成に向けた分析や発想の転換などにより質の向上を目指すこととする。

そのため、次の3つの重点を設定するとともに、限られた財源のなか、より効果的な予算とすべく、政策・施策評価と予算の連動をさらに洗練し、重点化した課題の重要度や優先度を見極めるとともに、各施策の連携をより一層意識しながら、編成作業にあたるよう示達する。

記

1. 予算編成における重点

- ・ひとが躍動し、地域経済が強いまちをつくる
- ・健やかに育ち、つながりが強いまちをつくる
- ・地球にやさしく、災害に強いまちをつくる